



2017年3月期 第2四半期 連結決算説明資料

見通しに関する注意事項

当資料に記載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証したりするものではありません

※資料内の会計期間の表記は“F”を用いております。2017年3月期第2四半期累計は“16F1”となります

2016年11月

EIZO株式会社 (6737)

連結損益計算書

(百万円)

	15F1		16F1		前年同期比	
	金額	売上高比(%)	金額	売上高比(%)	増減額	増減率(%)
売上高	34,754	100.0	39,532	100.0	+4,778	+13.7
売上原価	24,675	71.0	26,808	67.8	+2,133	+8.6
売上総利益	10,078	29.0	12,724	32.2	+2,645	+26.2
販売費及び一般管理費	8,340	24.0	8,252	20.9	▲88	▲1.1
営業利益	1,738	5.0	4,471	11.3	+2,733	+157.2
営業外損益	671	1.9	▲502	▲1.3	▲1,173	-
経常利益	2,409	6.9	3,969	10.0	+1,559	+64.7
税金等調整前当期純利益	2,409	6.9	3,969	10.0	+1,559	+64.7
親会社株主に帰属する当期純利益	1,742	5.0	3,112	7.9	+1,370	+78.6
為替レート：USD	121.88円		105.20円		▲16.68	
為替レート：EUR	135.11円		118.04円		▲17.07	

(参考) 為替感応度(為替相場1円の変動(円高)により、営業利益に与える年間影響額) : USD プラス90百万円、EUR マイナス160百万円



EIZO®

2017年3月期 第2四半期連結決算説明資料

連結売上高推移

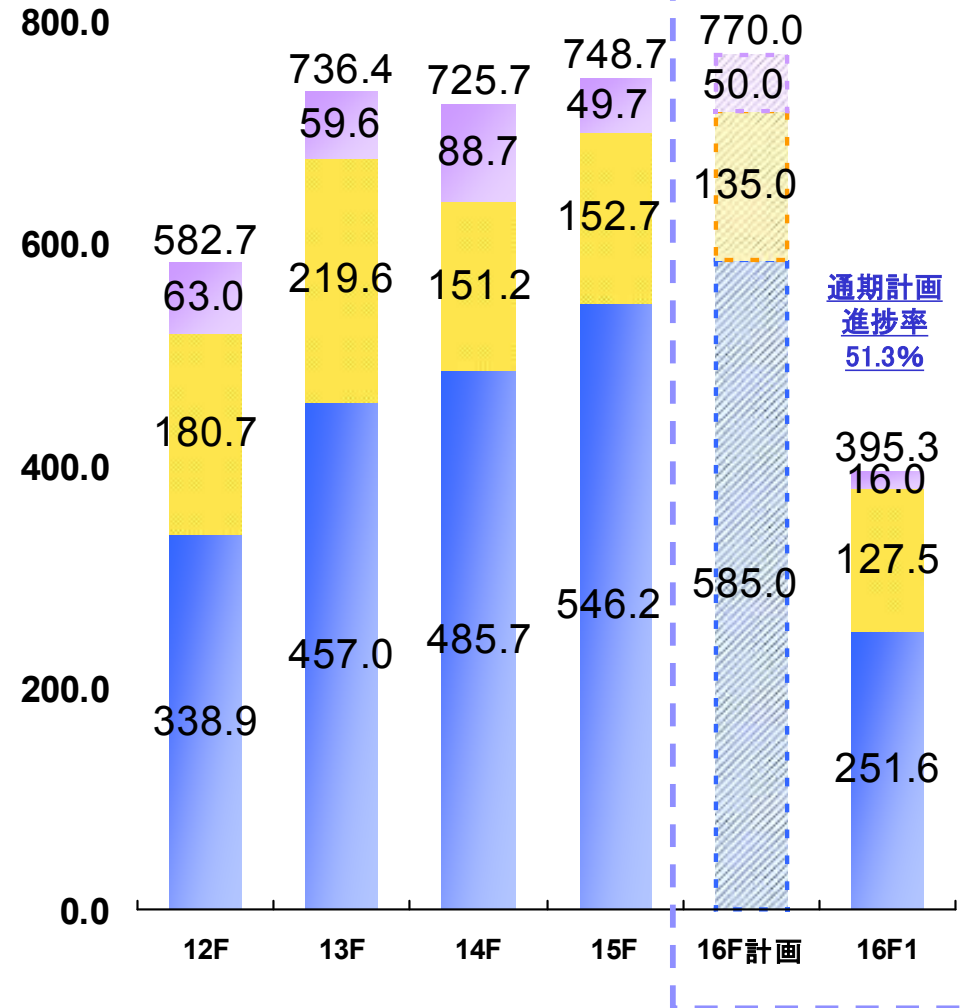
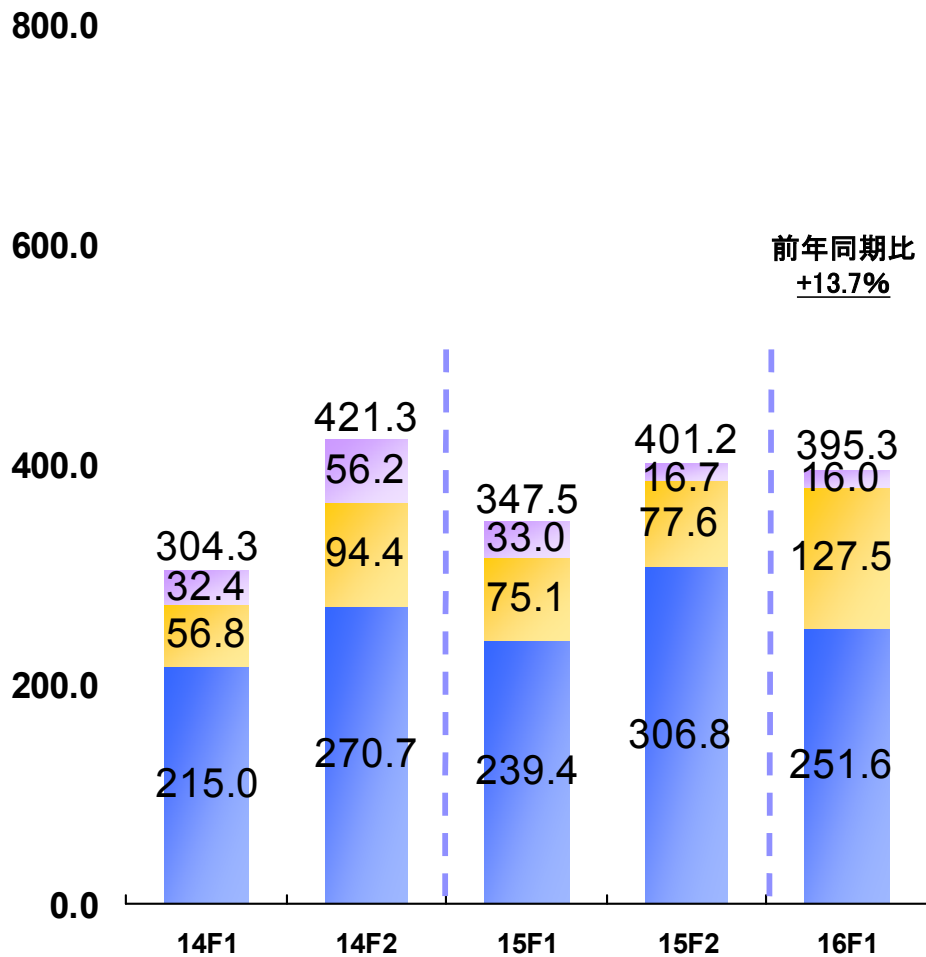
(億円)

半期推移

年次推移

■ 映像表示システム ■ アミューズメント用モニター ■ その他

■ 映像表示システム ■ アミューズメント用モニター ■ その他



売上高推移

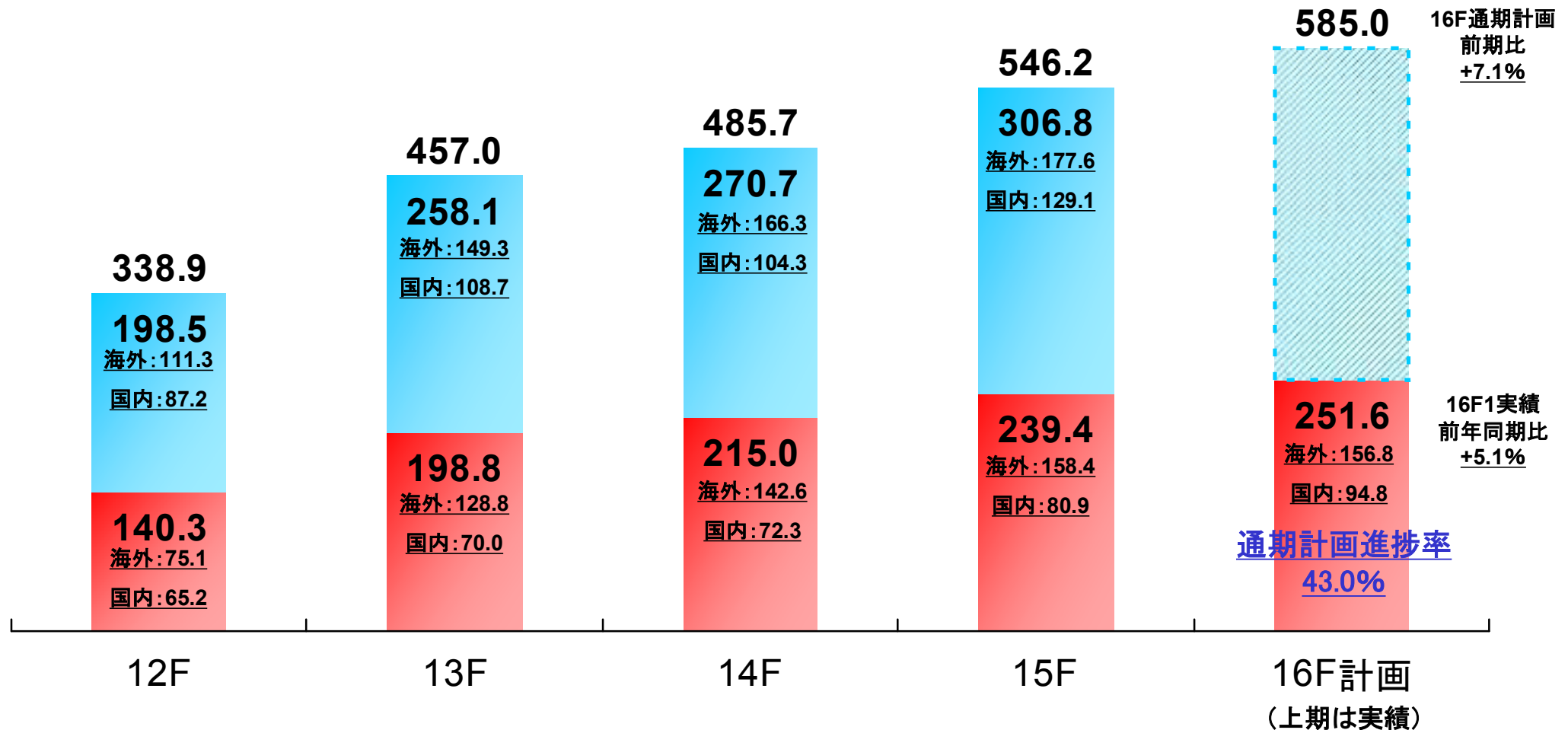
映像表示システム - 合計 -

(億円)

■ 上期 ■ 下期

・海外では、引き続き販売は堅調に推移しており販売数量ベースは増加し、円高による為替影響を吸収した結果、前年同期並みとなった

・ヘルスケアシステム向けのインテグレーション事業の売上高増加もあり、国内での売上高は前年同期で+17.1%となった



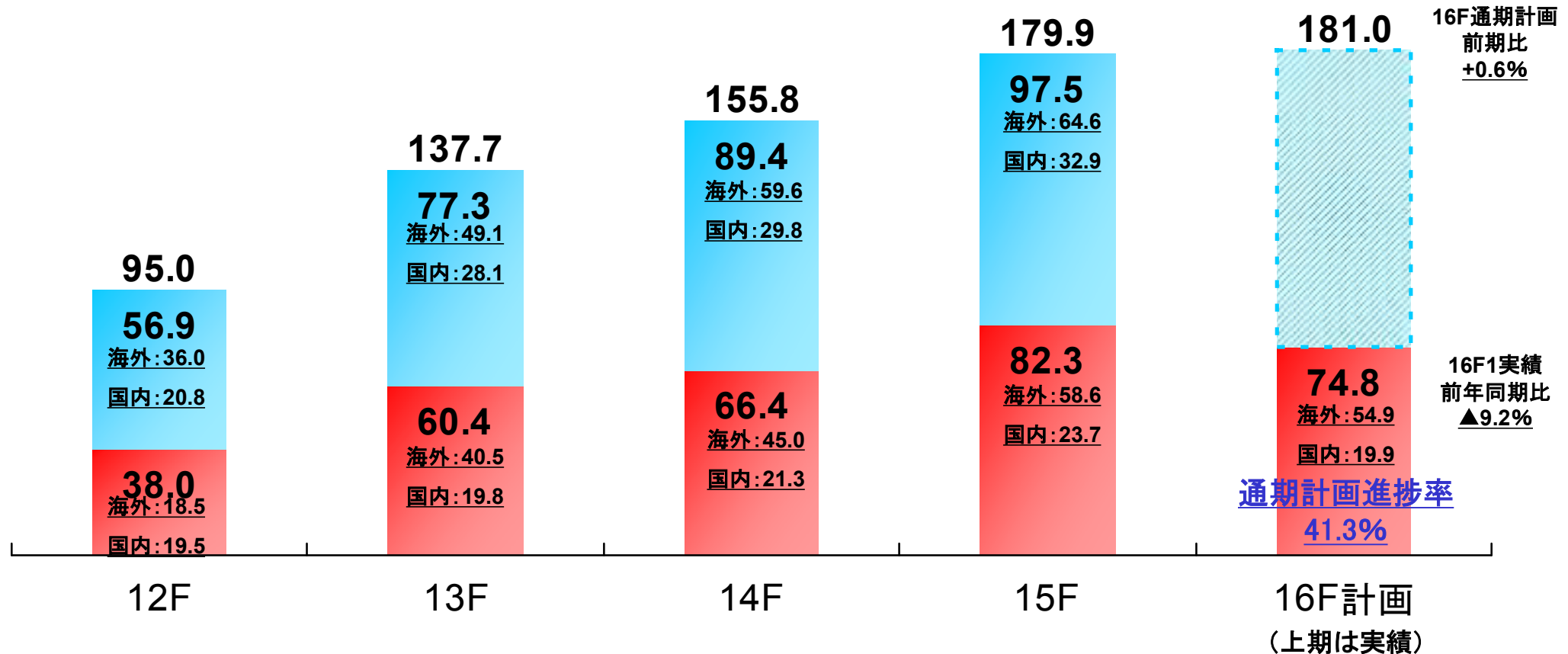
売上高推移

映像表示システム - B&P市場 -

(億円)

■ 上期 ■ 下期

- ・海外では、フレームレスモニターが引き続き好調に推移しており販売数量は増加し、海外現地販売では好調に推移した。売上高ベースでは円高による為替影響のため、前年同期比で▲6.3%の減収となった
- ・国内では、販売単価の高い大型モニターが増加した。一方で、法人向けの販売が伸び悩み、全体では販売数量は減少した。この結果、前年同期比で▲16.3%の減収となった



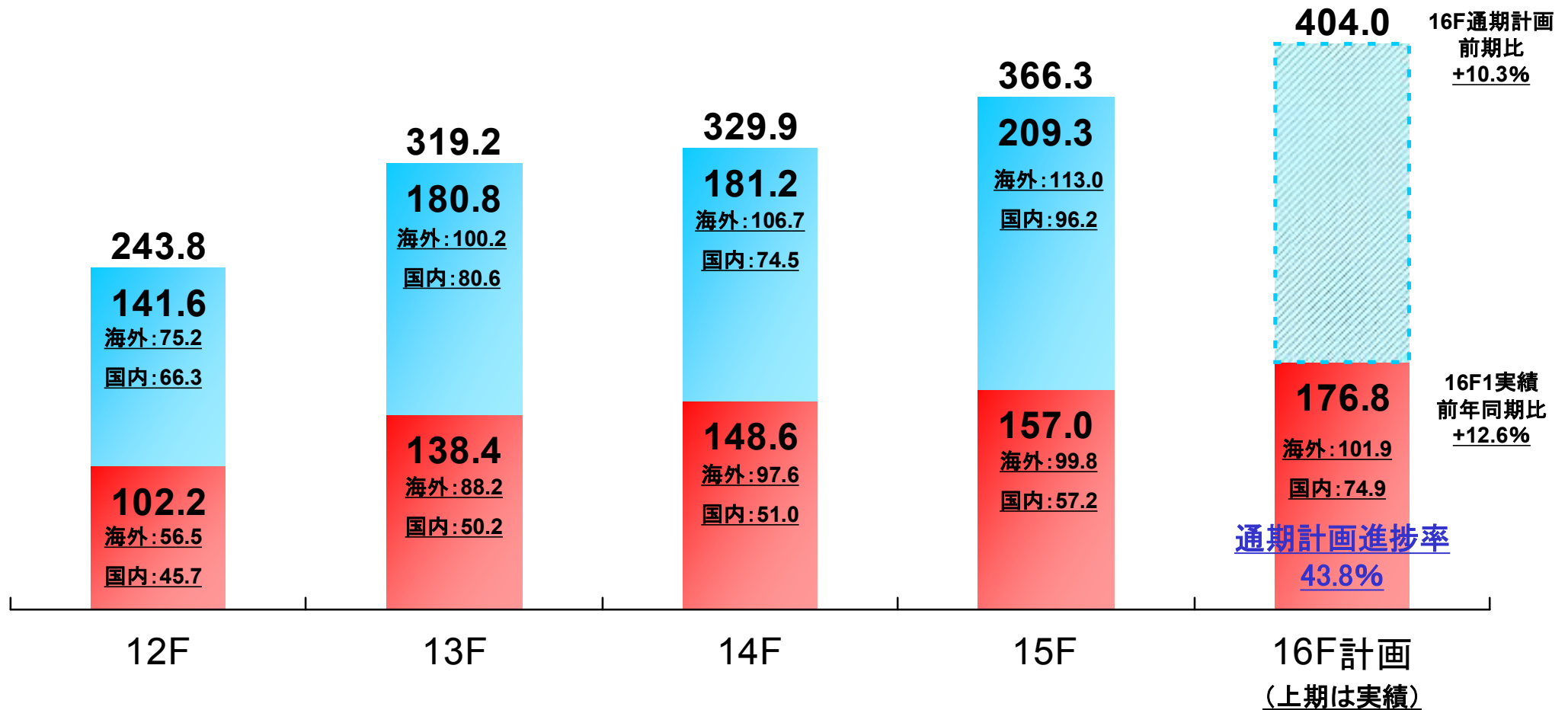
売上高推移

映像表示システム - V&S市場 -

(億円)

■ 上期 ■ 下期

・V&S:ヘルスケア、クリエイティブワーク及びインダストリーで構成されており、それぞれの売上高推移はP6～P8参照



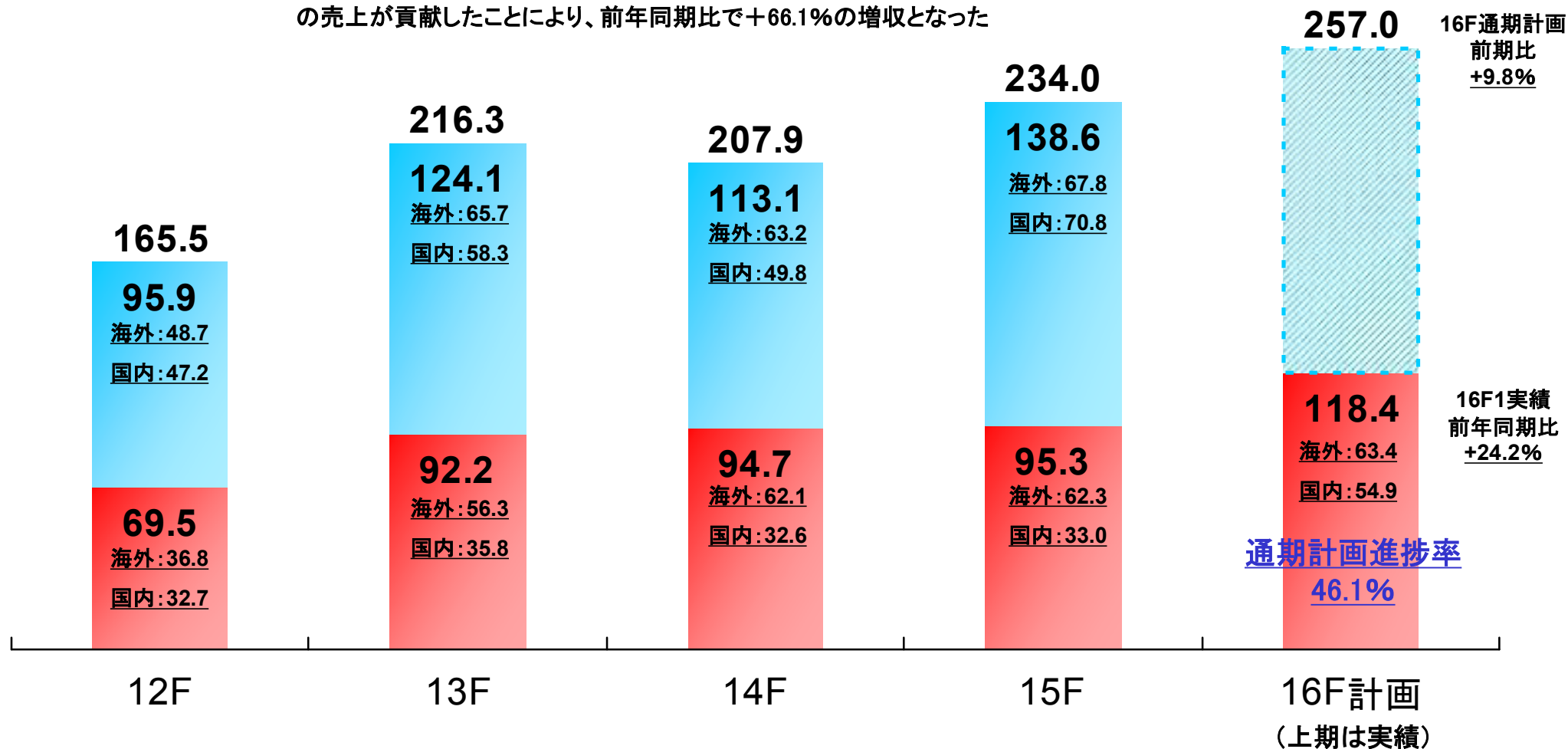
売上高推移

V&S市場：ヘルスケア

(億円)

■ 上期 ■ 下期

- ・海外では、円高による為替影響を受けたものの、米国では診断用途・手術室向けのモニターやシステム商品の販売が好調であり、また欧州での診断用途の入替案件や買収した内視鏡向けの販売があり、前年同期比で+1.9%の増収となった
- ・国内では、診断用途向けの販売は減少したものの、手術室向けやシステムインテグレーションビジネスの売上が貢献したことにより、前年同期比で+66.1%の増収となった



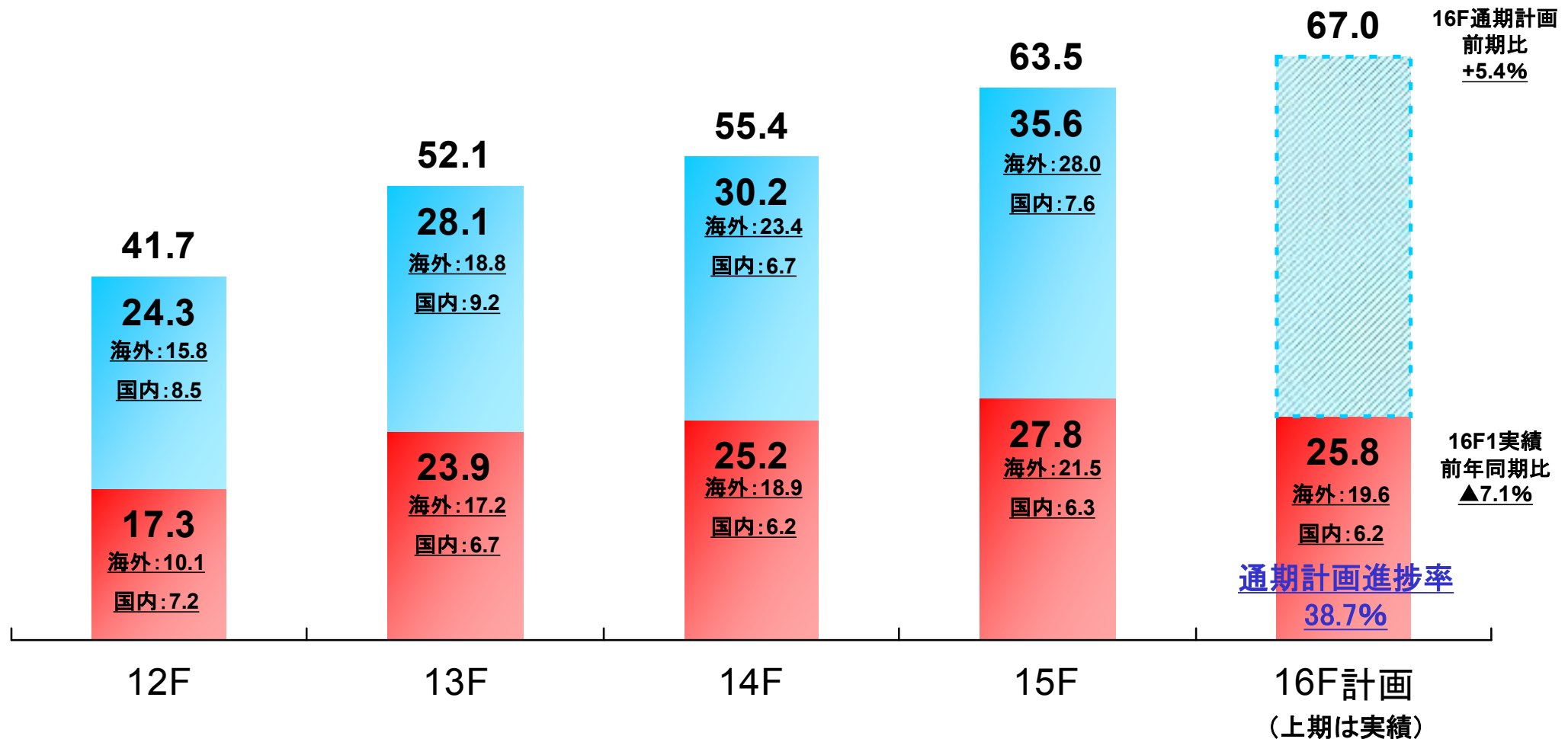
売上高推移

V&S市場：クリエイティブワーク

(億円)

■ 上期 ■ 下期

- ・海外では、販売数量ベースでは増加しており、特に4Kモニターが好調に推移した。売上高ベースでは円高による為替影響により、前年同期比で▲8.5%の減収となった
- ・国内ではプロフェッショナル用途の販売が堅調に推移し増加した。一方で、エントリー向けモデルの販売が減少し、前年同期並みとなった



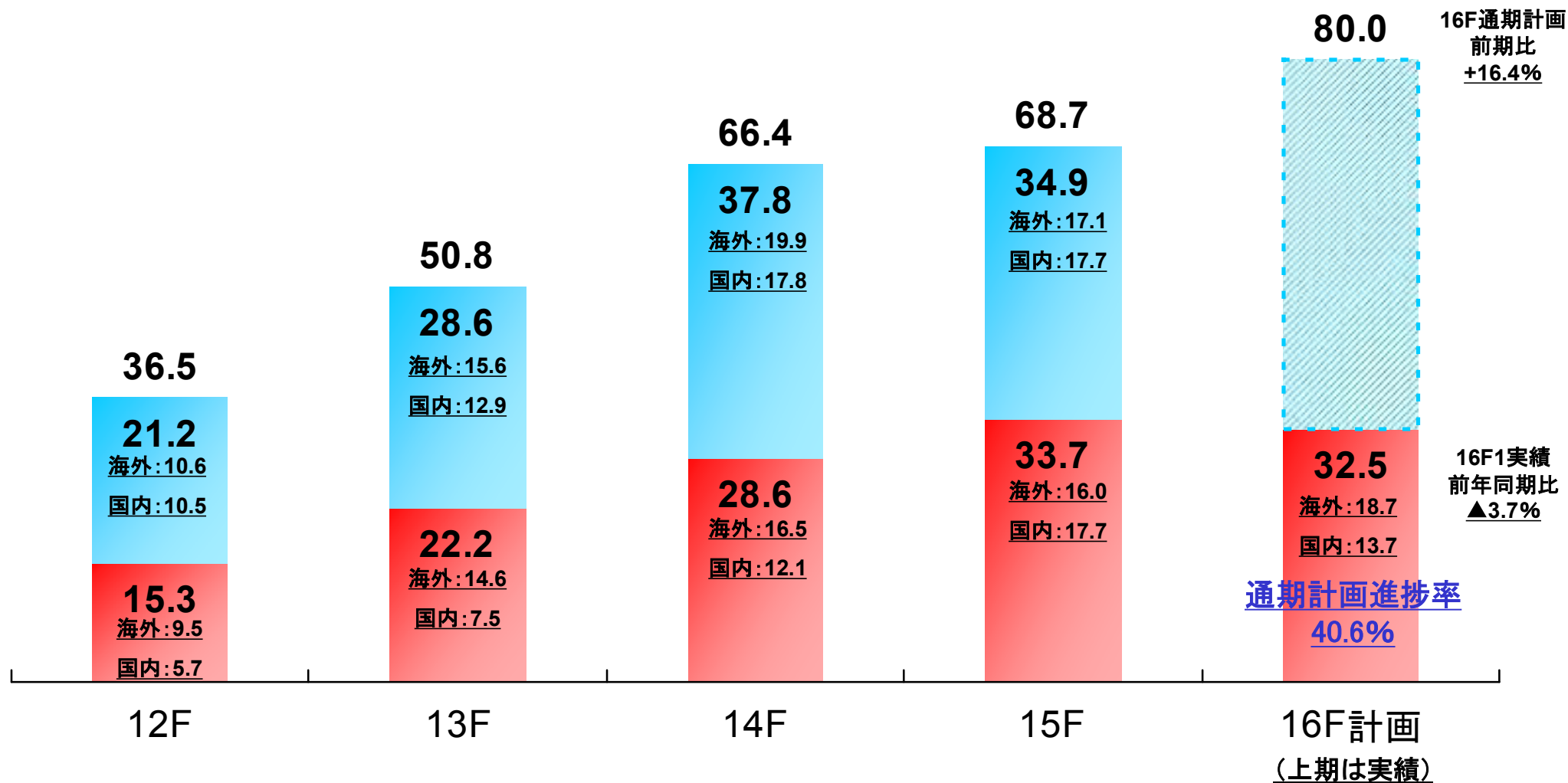
売上高推移

V&S市場：インダストリー

(億円)

■ 上期 ■ 下期

- ・海外では、円高による為替影響を受けたものの、欧州で監視用途向けで販売が伸長したことに加え、欧米の主要な先進国におけるATC向けの販売が増加したことから、前年同期比で+17.1%の増収となった
- ・国内では、前年同期に大型のプロジェクトがあったこと等から、前年同期比で▲22.4%の減収となった

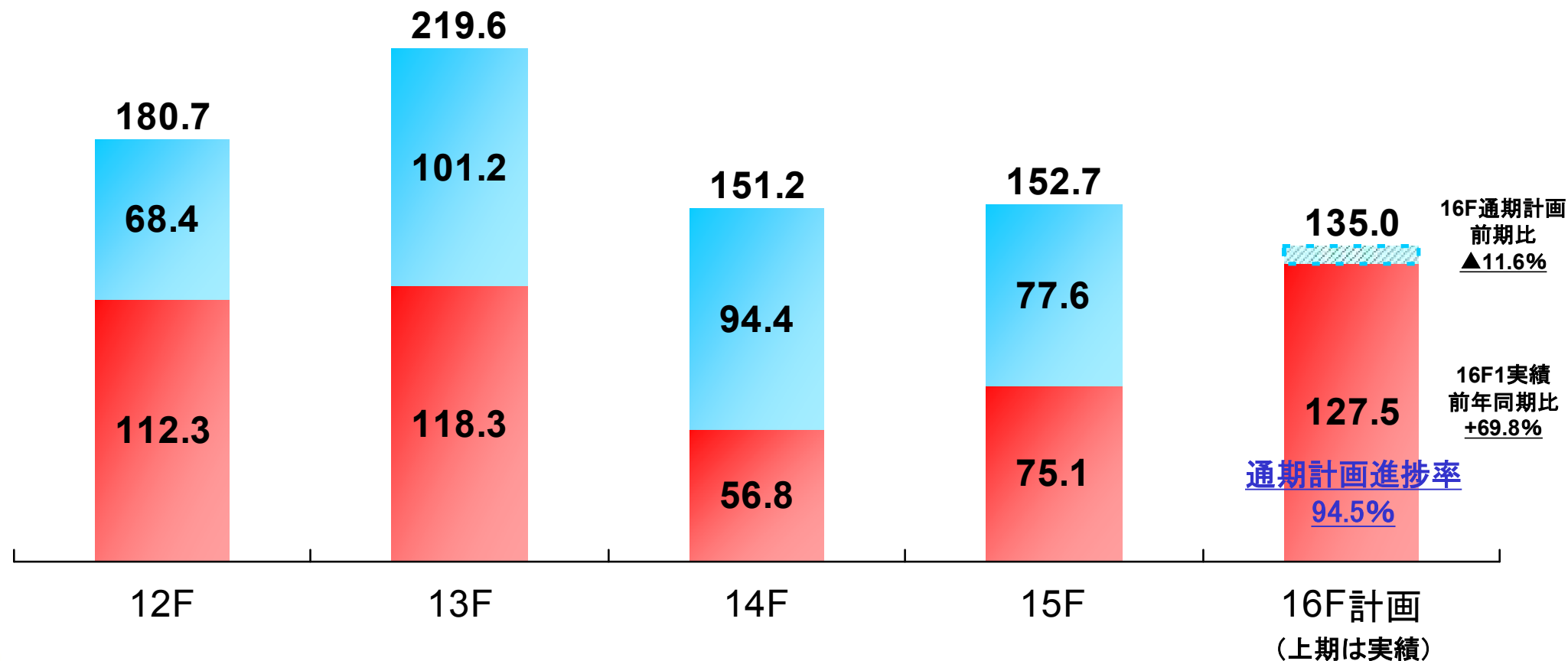


売上高推移 アミューズメント用モニター

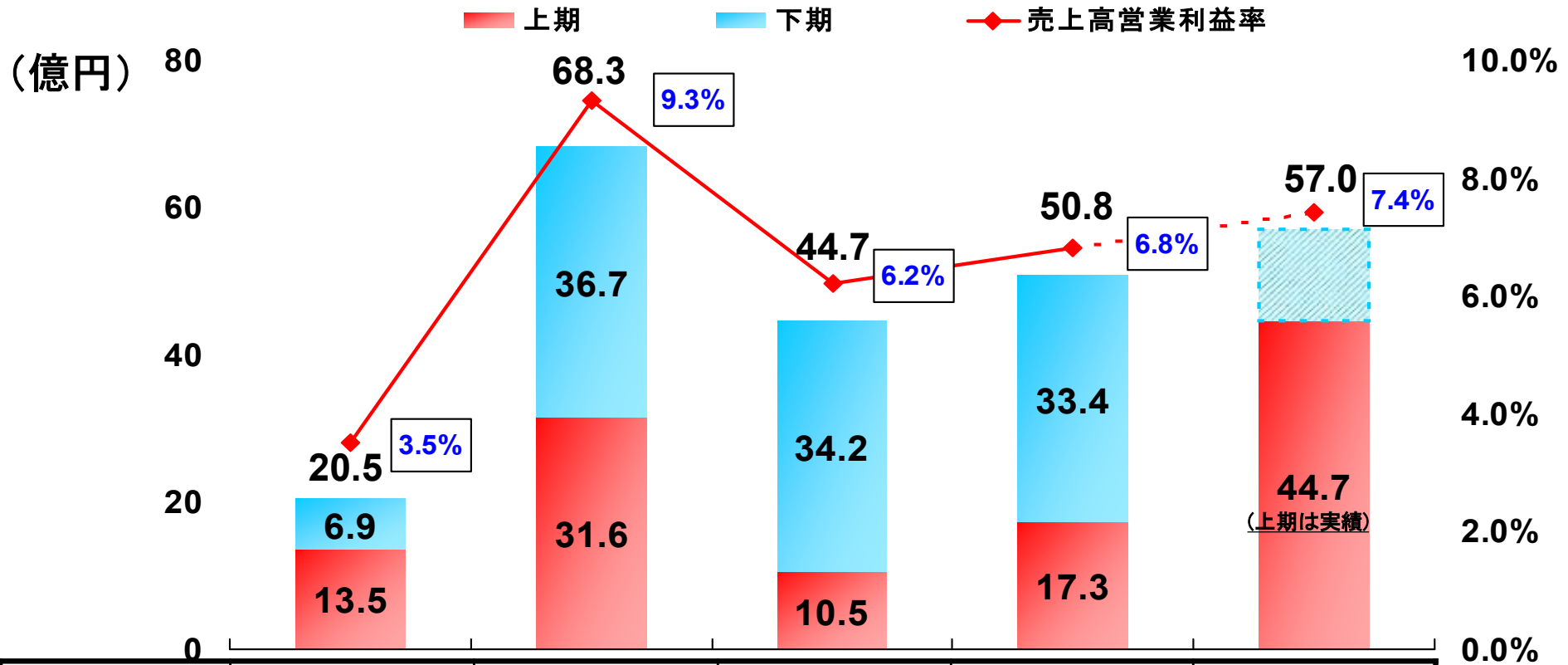
(億円)

■ 上期 ■ 下期

・通常の入替需要に加えて、検定時と性能が異なる可能性のある遊技機の撤去による入替需要に対して、資材調達や生産面において柔軟な供給対応ができたことで、前年同期に比べ売上高は+69.8%の増加となった



営業利益推移



	12F	13F	14F	15F	16F計画
ROA (%)	4.0	9.3	4.7	5.4	5.7
ROE (%)	2.7	8.3	4.5	5.3	5.5
DOE (%)	1.8	1.8	1.7	1.9	2.1
EBITDA (億円)	44.2	97.0	67.2	77.5	83.1

ROA(総資産経常利益率): 経常利益÷総資産(期首・期末平均) ROE(自己資本当期純利益率): 当期純利益÷自己資本(期首・期末平均)

DOE(純資産配当率): 年間配当金総額÷自己資本(期首・期末平均) EBITDA: 税引前当期純利益+支払利息+減価償却費+のれん等償却費+減損損失



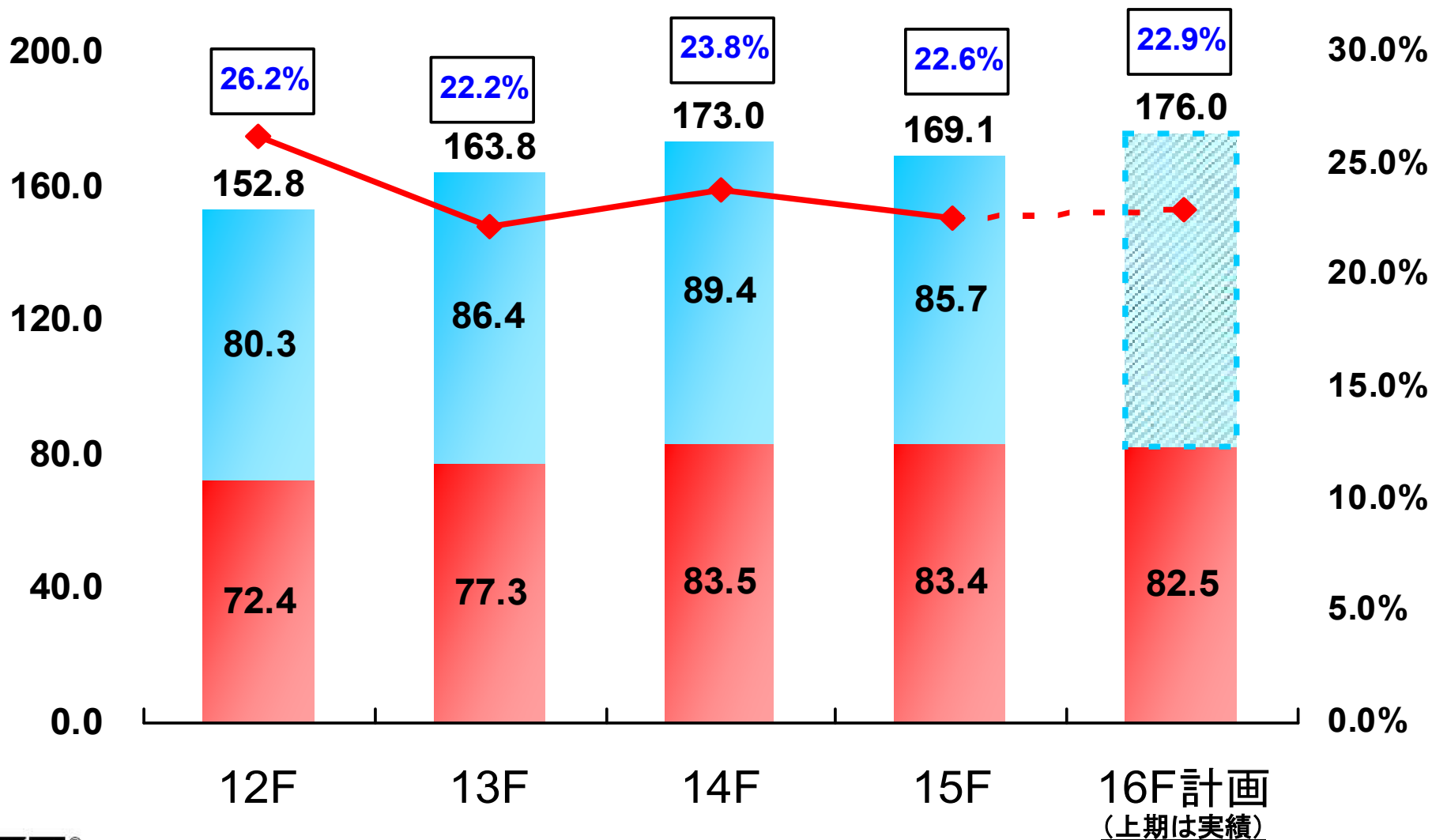
EIZO®

販売費及び一般管理費推移

■ 上期 ■ 下期 ◆ 売上高販管費比率

(億円)

・海外での販売体制の強化や、V&S市場向けの試験研究費を増加させたものの、アミューズメント事業の構造改革の推進や
 リーン化による固定費の削減と効率化を推進したことから、前年同期比で▲1.1%の減少となった

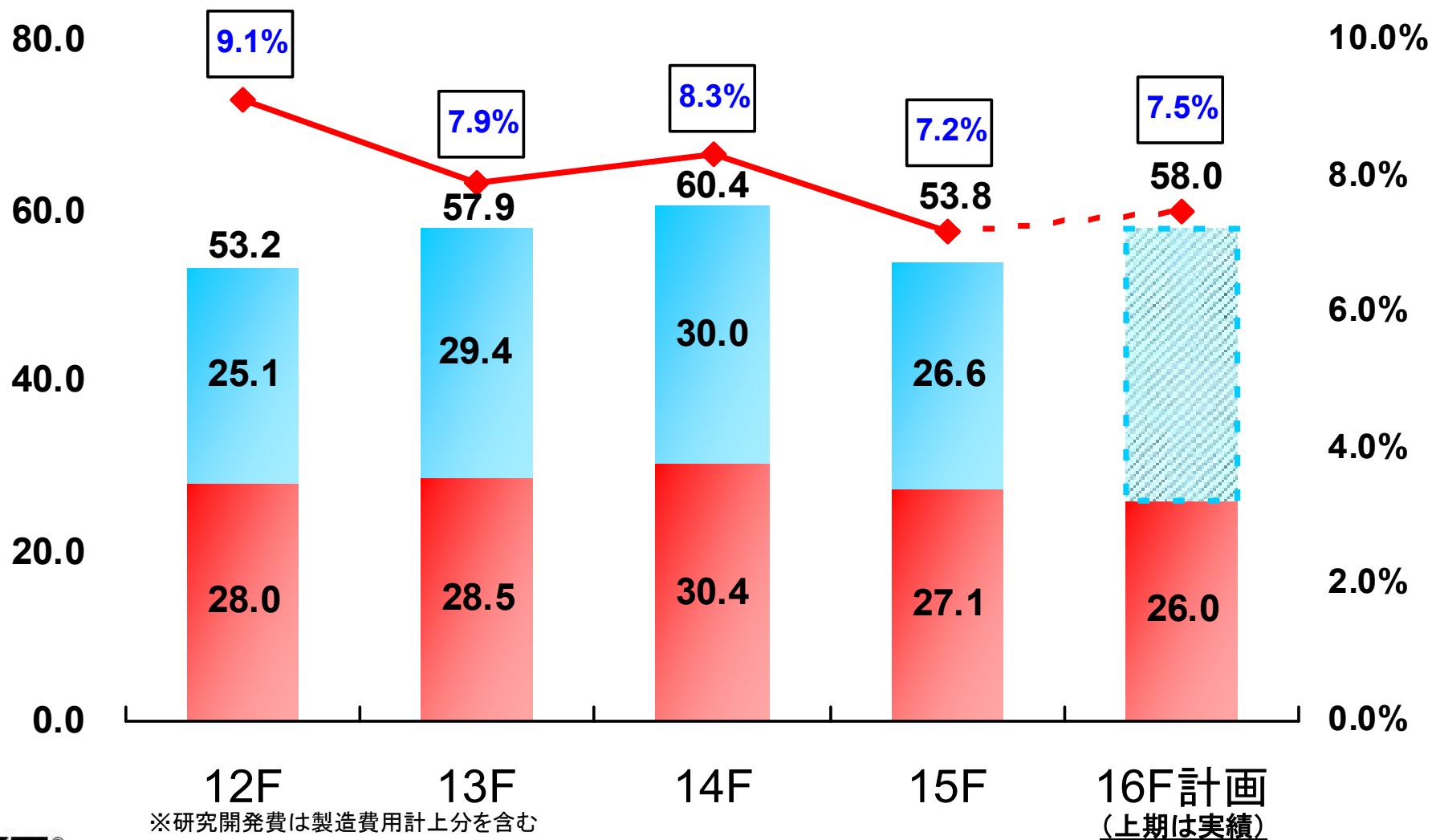


研究開発費推移

■ 上期 ■ 下期 ◆ 売上高研究開発費率

(億円)

・手術室向けや船舶向け、MIL規格対応製品等のV&S市場向け製品の研究開発を積極的に行った一方、アミューズメント市場の環境変化に対応した、開発プロセスの最適化による構造改革の推進を行ったことにより、前年同期比で▲4.1%の減少となった



※研究開発費は製造費用計上分を含む



設備投資推移

(億円)

■ 設備投資(金型含む)

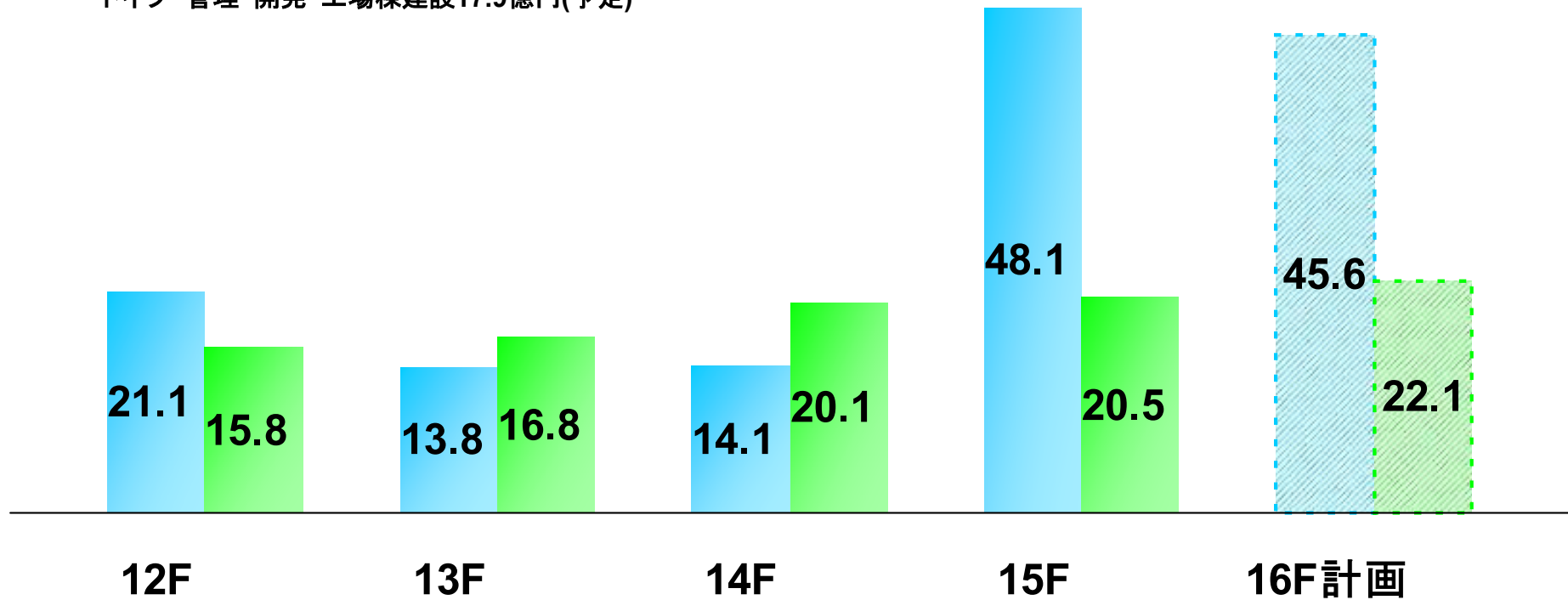
■ 減価償却費(金型含む)

16Fの主な設備投資

新工場製造ライン設備3.8億円(完了)

MIL試験評価棟8.8億円(2016年9月着工)

ドイツ 管理・開発・工場棟建設17.9億円(予定)



連結貸借対照表

(百万円)

	16年3月末 (前期末)		16年9月末 (当第2四半期末)		前期末比 増減額
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	
現金及び預金	7,221	6.9	5,753	5.4	▲1,467
受取手形及び売掛金	17,138	16.4	18,339	17.2	+1,201
たな卸資産	23,911	22.8	23,978	22.5	+66
その他の	16,501	15.7	18,482	17.4	+1,980
流動資産	64,772	61.8	66,553	62.6	+1,781
有形固定資産	11,001	10.5	11,278	10.6	+276
その他の	29,018	27.7	28,524	26.8	▲493
固定資産	40,019	38.2	39,802	37.4	▲217
資産計	104,792	100.0	106,356	100.0	+1,563
買掛金	5,994	5.7	8,877	8.3	+2,883
その他の	11,487	11.0	9,685	9.1	▲1,802
流動負債	17,482	16.7	18,563	17.5	+1,081
固定負債	9,298	8.9	8,802	8.3	▲496
純資産	78,011	74.4	78,990	74.3	+978
負債・純資産計	104,792	100.0	106,356	100.0	+1,563

連結業績計画

2016年5月9日に公表した通期の業績予測から変更しておりません

(百万円)

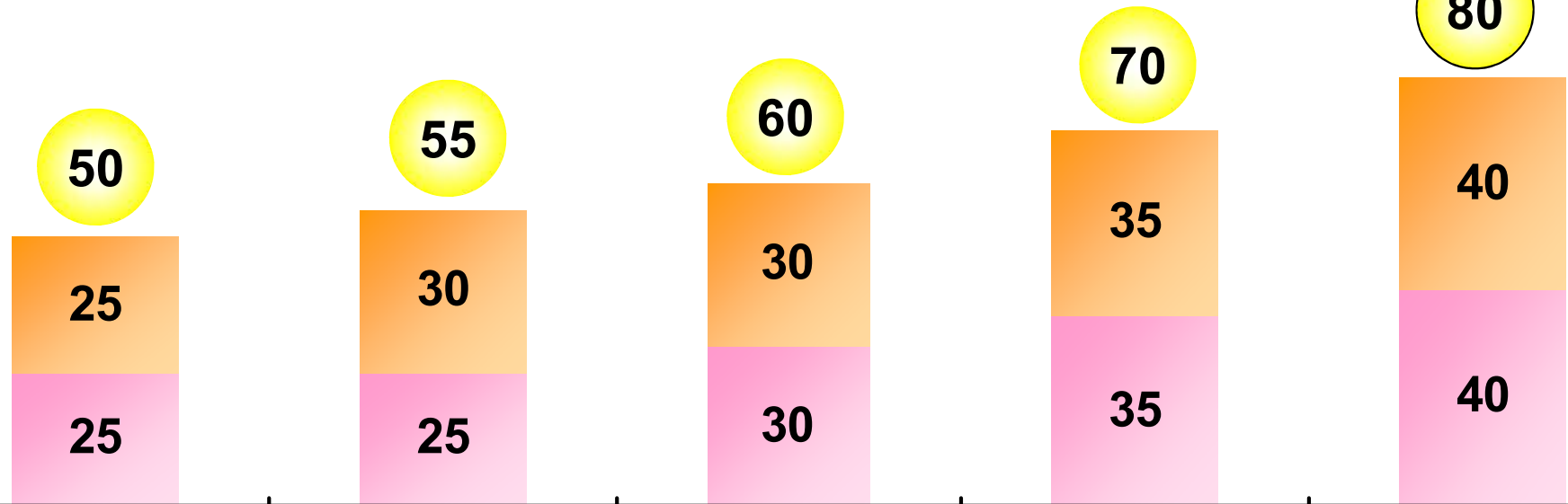
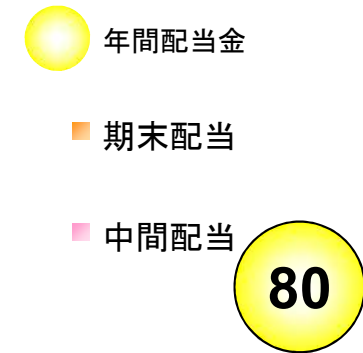
	15F		16F計画		前期比	
	金額	売上高比(%)	金額	売上高比(%)	増減額	増減率(%)
売上高	74,878	100.0	77,000	100.0	+2,121	+2.8
営業利益	5,081	6.8	5,700	7.4	+618	+12.2
経常利益	5,698	7.6	6,100	7.9	+401	+7.0
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,202	5.6	4,400	5.7	+197	+4.7
為替レート:USD	120.16円		110.00円		▲10.16円	
為替レート:EUR	132.60円		120.00円		▲12.60円	

株主還元

(円/株)

●株主還元方針

- ・当社は、会社の成長に応じた安定的な配当を継続的に行うことを基本方針としており、今後の事業拡大のための設備や研究開発投資に必要な内部資金の確保、財務状況及び将来の業績等を総合的に勘案しながら、配当や自己株式取得等の株主還元を実施してまいります
- ・株主への還元率(総還元性向)は、連結当期純利益の40%~50%を目標水準としております



	12F	13F	14F	15F	16F予想
配当性向	66.7%	21.6%	38.5%	35.5%	38.8%
還元率	66.7%	21.6%	38.5%	35.5%	38.8%

配当性向は連結ベース 16F期末配当は予想

EIZO株式会社

〒924 - 8566 石川県白山市下柏野町153番地

○お問合せ 担当：IR室 有生(ありせ)

電話番号：076-275-4121

www.eizo.co.jp